

必由館高等学校改革基本計画 (アンケート結果 報告)

令和 3 年 (2021 年) 7 月 12 日

熊本市立必由館高等学校生徒会

熊本市立必由館高等学校再編について、全校生徒アンケート

- 1 実施日 令和3年7月6・7日 集計日 7月8日 昼休み・放課後
- 2 実施対象 全校生徒 集計できた人数955人分 (似たような意見はまとめています)
- 3 実施方法 オンラインアンケートで高校再編素案改訂版を見ながら、それぞれが回答
- 4 実施した対案作りの柱と考えた項目

- 1 抜本的改革の必要性。全校生徒、クラス人数(少人数学習)、コースについて
- 2 附属中学校(系列学校)の必要性
- 3 探究活動の時間について
- 4 校則について

- 1 抜本的改革の必要性。全校生徒、クラス人数(少人数学習)、コースについて
県内全域の少子化問題や学習支援、学習環境面から考えてみましょう。

30人(少人数学習)のメリット

- ・現在、様々な学校で定員割れが起きている為、定員を減らすことで県内のバランスは良くなるのではないかな。
- ・現在問題となっている教室の広さや後ろの棚、靴箱など、余裕をもって使えるようになる。
- ・今まで以上に先生方とのコミュニケーションがはかれる。それにより、さらに丁寧な学習支援や進路学習、教育支援などを受けることが可能になる。

などがあります。

30人(少人数)のデメリット

- ・全校生徒の減少(教育委員会素案では、全校生徒1080人の現在から、630人なので450人の減少となります)により活気がなくなる。
- ・様々な部活動で部員不足により大会参加ができなくなる。
- ・多様性とうたっているが様々な人(個性)を感じる機会が奪われるのではないかな。

などがあります。

上記を踏まえて1について

ABCのいずれかに○をつけるか他にアイデアがある人はD欄に記入してください。

- | | | | | | |
|----------|------------------------------------|---------------------------------------|------|------|-------|
| A 現状のまま | 40人 | 9クラス(普通科 普通コース 国際コース 芸術コース 服飾デザインコース) | 360人 | 集計結果 | 824人 |
| B 抜本的改革 | 30人 | 7クラス(グローバル探究科 芸術探究科) 教育委員会の抜本的な改革に賛成) | 210人 | | 22人 |
| C 時代に応じた | 少人数学習の良さや熊本県全体の少子化などを考えて、新しい案を提案する | | | | 100人 |
| 例えば | 30人 | 9クラス(普通科 普通コース 国際コース 芸術コース 服飾デザインコース) | 270人 | | 未記入3人 |

D その他、別のアイデア 6人

- ・男子の数が激減すると思う。・部活動は完全に衰退する。
- ・部活が強い、服飾デザイン、芸術、国際などの特色のあるコースがなくなれば必由館の魅力がなくなり、受験者は減ると思う。
- ・30人9クラス普通科(普通コース⑤ 国際コース① 芸術コース① 服飾デザインコース① スポーツ特進①) 270人
- ・グローバル探究科は魅力的だけど、ただでさえ国際コースは定員割れしているのに150人も入ってくれるのでしょうか。
- ・服飾デザインコースは必ず残してほしい。 などがありました。

2 附属中学校（系列学校）の必要性

附属中学校ができるメリット

- ・中学校 1 年生から高校 3 年生まで、幅広い年齢の人と触れ合うことができる。
- ・6 年間、探究学習を継続して行うことができる。

などがあります。

附属中学校ができるデメリット

- ・中学生 150 人の為に、高校は 630 人となり、高校からの入学者は 480 人になる。
- ・今の敷地、校舎をすべて二つに分けて使わなければならない。

などがあります。

上記を踏まえて 2 について

AB のいずれかに○をつけるか他にアイデアがある人は C 欄に記入してください。

A 現状のまま、高校のみで良い 921 人

B 抜本的改革・中学校を作り、中高一貫校にする。 16 人 未記入 7 人

C その他、別のアイデア 11 人

- ・中学校よりも熊本市立大学を作ってほしい。・熊本市立幼稚園、小学校、中学校、高校、大学と全てを作って一貫教育を。
- ・中学生と同じ敷地での学校生活は嫌。・中高一貫校になり誇りに思える部活動が弱くなることでさらに入試倍率は下がると思う。
- ・市立大学を作り、公立大学へ行ける人数を増やしたい。・附属中学校を作るなら別の場所に作ってください。
- ・中学からエスカレーター式で高校に上げると目的意識の薄い人が増えるので今のままが良いです。
- ・たくさんの中学校があるのに、わざわざ必由館中学校を選ぶ人は少ないと思う。

などがありました。

3 探究活動の時間について

探究活動が増えるメリット

- ・自分が興味のあることを選択して授業を受けることができるようになる。
- ・主体性が身に付き、似たような目標がある人と協働した学びができる。
- ・総合型選抜入試に自信を持って挑むことのできる生徒が増える可能性がある。

などがあります。

探究活動のデメリット

- ・普通科目の授業が減るため、基礎学力の低下が予想されることや共通テスト出題教科の中で、授業ができない教科が出てくる。その結果、学部によっては受験が出来なくなることが起きてしまう可能性がある。
- ・専門的に学習をしたいと思うことが開講されない場合やまだ総合的に学力を高めたいと考えている人は探究活動に参加意欲がわからない。

などがあります。

上記を踏まえて 3 について

ABC のいずれかに○をつけるか他にアイデアがある人は D 欄に記入してください。

A 現状のままのカリキュラム（総合や LHR）で良い。 741 人

B 抜本的改革・探究活動が中心の学校にする。 41 人

C 新しい案として、A と B の中間くらいと提案する。（例えば、週に 6～8 時間、月・水・金の午後は探究活動の時間にする）156 人

未記入 10 人

D その他、別のアイデア 7 人

- ・ISIF で他の学校の総合学習を観たら、商品開発やボランティアを自分で考えて取り組んでいた。とても楽しそうやってみたい。
- ・普通科目と探究活動の選択制としてはどうだろうか。・探究活動を強制するのではなく、やりたい人がやれば良い。

などがありました。

4 校則について

教育委員会の高校再編素案では、生徒が主体的に学校づくりに参画する学校を目指すと書いてあります。この件に関しては、私たちも賛同したいと考えています。昨年から校則検討委員会を立ち上げ、先生方と共に議論を重ね、腰スカートの導入が開始されています。また、頭髮の規定の変更や新しい制服の導入などの議論を継続して行っています。このようなことから、今でも必由館高校は、生徒が主体的に学校づくりに参画する学校であると言えるようにも感じています。

今回の高校再編により、様々な教育活動において、私たちの意見が反映されるようになることが期待されます。

ABのいずれかに○をつけるか他にアイデアがある人はC欄に記入してください。

A 生徒が主体的に学校づくりに参画する学校を目指すことに賛同する。 908人

B 生徒が主体的に学校づくりに参画する学校を目指すのは難しいから、教員主導の学校の方が良い。 17人
未記入 22人

C その他、別のアイデア 8人

- ・ A がもちろん良いと思うが、今の校則でも守らない人があるのに難しいと思う。
- ・ 生徒や教員だけでなく、保護者やいてふ会の方にも校則についての意見をいただく。
- ・ 生徒が主体的に考え案を出して、最終的には教員に決めてもらう。

最後に、何か伝えたいことがある人は記入をお願いします。

- ・ アルバイトを許可してほしい。
- ・ 義務教育ではないのでメイクやヘアなど、もっと自由にしたい。
- ・ 学年が上がると自分の興味や夢が変わるから、国際コースや服飾デザインコースへの編入制度を作してほしい。
- ・ 威圧して生徒を圧迫するのは良くない、アメとムチがあれば教育は正しい、これは違う。
- ・ 先日、神社に友人と行きました。神社の方に必由館生？と聞かれ「中高一貫にならないように頑張れ！と言われました。今回の改革は地域の方も反対しているのだなと思った。地域の人のためにも改革がなくなって欲しい。
- ・ 改革は必要だが、段階的に進めていくべきだと思う。
- ・ 服飾デザインコースに専門の外部指導者や有名な人を入れてほしい。
- ・ 制服をもっとジェンダーフリーに。・ 2,3年の体操服も1年生のものにすべき。
- ・ 学食を作って欲しい。
- ・ 何より、こういうのが設けられても、だいたい生徒の意見は反映されません。
- ・ 注意をしない先生が多いから、もう校則が変わったと思っている人が多い。校則があやふや。
- ・ 扇風機がダメ、うちわがダメとするならもっと生徒が勉強しやすい環境を整えるべき。
- ・ 制服検討委員会や生徒会の活動でどのようなことが起こっているのかがよくわからない。

みなさんから頂いた意見を7月8日の昼休みと放課後に新旧生徒会で集計しました。この結果をもとに対案作りをしていきます。今回のアンケート結果を分析すると、全校生徒のほとんどの人が抜本的な改革は必要なく、今のままの必由館が良いと思っていることがわかりました。しかしながら教育委員会の改革素案や教職員側の対案、いてふ会（OG/OB）側の対案を擦り合わせていくことも必要になってくると思います。

市立高等学校・専門学校の改革基本理念は、自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校へ改革するということです。このことを念頭に置きながら、様々な方と議論を深め、より良い学校づくりをしていきましょう。

必由館高等学校改革基本計画

(熊本市教育委員会への報告)

令和 3 年 (2021 年) 7 月 29 日

熊本市立必由館高等学校生徒会

全校生徒のアンケート結果と熊本市教育委員会の再編素案、市立高等学校・専門学校の改革基本理念を意識しながら新旧生徒会のグループワークで出た意見

自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校へ改革する。

↓

これを受けての

1 必由館高校の教育理念はどうするか

- ・普通科を残すべき
- ・生徒中心の学校にして、意見が反映されるような環境を作る
- ・授業を生徒が考え、先生に頼らずに授業をする
- ・新しいコースや教育理念を作るのではなく、グローバル教育に関する活動に参加しやすい環境を作る。(7 限目の活用)
- ・男女比が偏らないように普通コースを残すべき
- ・グローバルに絞らずに、高校では様々なことを学び、選択肢を増やしたが良いと思う

2 必由館高校の教育理念が〇〇だから、必由館高校の設置形態、学科やコース編成はどうするか

- ・コースはそのまま 30 人×9 クラス
- ・コースはそのまま 30 人の 8 クラス (普通 4 国際 2 芸術 1 服飾 1)
- ・30 人×9 クラス (普通 5 スポーツクラス 1 国際 1 芸術 1 服飾 1)
- ・30 人×9 クラス (普通 5 国際 2 〈グローバル探究活動〉芸術 1 服飾 1)
- ・40 人×8 クラス (普通 4 グローバルコース 2 芸術 1 服飾 1)
- ・今のままが良い

3 附属中学校にかわるアイデアはないのか。設置するならどのような形態があるか

- ・必要ない
- ・2 クラスを海外の人たちのクラスにする
- ・中学校ではなく、市立幼稚園や保育園を活用したインターンシップなどができるようにする
- ・附属中学校を作るよりも高校のカリキュラムを考え直すべき
- ・中学を作るよりも設備や備品を充実させ、高校の質を高くする
- ・高校で探究したものを近隣の中学校に発信するという活動をする

4 探究活動についての議論まではすすめなかった。

アンケートの結果を踏まえて、必由館高校生の想いとして

教育委員会に示す基本的な姿勢

抜本的な改革を望んでおらず、今のままの必由館高校が良いということ。

普通科を残してください。



しかし、どうしても時代の変化とともに変えていかなければならないのであれば

市立高等学校・専門学校の改革基本理念

自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校へ改革する。



これを受けての

1 必由館高校の教育理念はどうするか？

必由館高校の教育理念

文武共に、自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、それぞれの興味関心に応じて個性を伸長する。その中で、上級学校進学や社会を創造する力を身に付ける。

2 必由館高校の教育理念が〇〇だから、必由館高校の設置形態、学科やコース編成はどうするか？

学科やコース編成

36人×9クラス 合計 1学年 324名 3学年で972名
(普通コース6クラス 国際コース1クラス 芸術コース1クラス 服飾デザインコース1クラス)
前期入試・普通コースに中学校で頑張ったことが評価されるようなものを導入する。

3 附属中学校にかわるアイデアはないのか。設置するならどのような形態があるか

設置するならどのような形態があるか

附属中学校を作るのであれば、高校の人数を減らすのではなく、別の場所にきちんと作る。
定期的に中高の交流イベントなどを開催する。
入口よりも出先を考え、熊本市立大学を作る。

4 熊本市教育委員会素案の柱である探究活動はどうするか？

探究活動について

それぞれの個性や進学目標に応じて、普通科目と探究活動の選択制とする。